

## 遺産の森の価値

### やんばるの森

世界的に見ると砂漠が多い亜熱帯の緯度に位置する、雨に恵まれた肥沃な森—やんばるの森は、独自の生態系を築いています。面積にして日本の国土のわずか 0.1 パーセントのやんばるの森は、この国の生物多様性において不釣り合いな割合を占めています。日本の鳥全種のうち半数以上、およびカエル全種の四分の一が、少なくとも一年のうちの一時期にこの森で見られます。それどころか、何百万年も日本とアジア大陸の両方から隔絶されていたやんばるには、地球上でこの場所にしか存在しない希少で絶滅の危機にある鳥や昆虫、爬虫類、両生類が無数に生息しています。地域の人々は何世紀にもわたってこの森を手入れし、形づくってきました。そして、この森が与えてくれる資源は沖縄の島全体を豊かにしてきました。森を訪れる際は、自然歩道から外れず、昆虫や動植物を持ち帰らないでください。将来の世代のため、森の保全にご協力をお願いいたします。

## 与那覇岳の特徴

### 与那覇岳登山道

**全長：**登山道入り口から九合目の標識までの往復で約 3 キロメートル

**所要時間：**3-4 時間

**難度：**易しい（一部滑りやすい場所があります。脇道に迷い込みやすい箇所が 2 カ所あります。登山道を外れた茂みにいるハブに注意してください）

**見どころ：**キノボリトカゲ、クワズイモ、ヒカゲヘゴ

与那覇岳の登山道は、幅 2 メートルの旧林業用路です。一部に滑りやすいところがありますが、登山はそう大変ではありません。与那覇岳の高さは 503 メートルですが、山頂は厳しい保全管理をとまなう特別自然保護区に指定されており、立ち入りが禁止されているので、登山者は九合目で引き返さなくてはなりません。ゆっくり歩いて約 3～4 時間で往復できます。

登山道の最初の部分では、派手なシダと広がった葉が最大 1 メートルにもなるクワズイモが見られます。季節によって変化する鳥と昆虫の合唱を背景に、地元のガイドがキノボリトカゲなどのおとなしい生物を見つけるのを手伝ってくれます。

1 時間ほど登ったところにある浅い池は、水田の跡で、今ではカエル、トカゲ、トンボのすみかになっています。この先の植物相は、やんばる固有の常緑樹であるイタジイにより、より密にな

っています。運が良ければ、ノグチゲラも目にすることができるかもしれません。

### 種子取りマットの部分

#### **足元を拭ってください！**

やんばるの生態系は侵入種に対して脆弱です。この侵入種には訪れる人の靴の裏について持ち込まれる植物の種子や菌類の胞子も含まれます。森の保全のため、お出しするマットで念入りに靴を拭ってください。

### 裏面

#### **ご訪問ありがとうございます！**

あなたはたった今、いくつかの場所を訪れて、やんばるの人々が何世紀にもわたって大事にしてきた動植物を目にしてきたところです。最後にもう一度、写真や思い出以外は森から家に持ち帰らないようお願いいたします。将来の世代に与那覇岳を守り伝えるためにご協力いただきありがとうございます。